

4月定例教育委員会会議録

- 1 開催日時 平成24年4月23日（月）10時～11時25分
- 2 開催場所 武雄市役所 4階会議室
- 3 出席者名 教育委員：諸石委員長、古場委員長職務代理者、檜崎委員、猪村委員、浦郷教育長
事務局：白濱教育部理事、蒲原こども部長、大宅教育総務課長、小野学校教育課長、
諸岡未来課長、原田文化・学習課参事、杉原図書館・歴史資料館館長、
森学校教育課参事
- 4 傍聴者数 なし
- 5 報道関係者 なし
- 6 議事録署名人の指名 【古場委員を指名】
- 7 前回会議録の承認 平成24年3月定例教育委員会会議録 【原案どおり承認】
- 8 教育長の報告 1) 前回以降の報告(子どもの育ちほか)
2) 県・杵西の動きから(川崎教育長ミッションほか)
3) 主な事業に関して(言語力向上を基盤とした学力向上ほか)
- 9 議 事
第1号議案 武雄市文化財保護審議会委員の委嘱について 【議案どおり議決】
第2号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について 【議案どおり議決】
第3号議案 武雄市奨学資金貸与生の決定について 【議案どおり議決】
- 10 各課等からの報告
- 11 次回開催日程について 【平成24年5月23日（水）14時～】
- 12 会議録

午前10時 開会

○委員長

皆さん、おはようございます。今から4月の定例教育委員会を始めます。異動で古賀部長さん、白濱理事さん、蒲原部長さん、大宅課長さん、諸岡課長が出席いただくことになりました。どうぞよろしくをお願いいたします。

まず、議事録署名人の指名ですが、古場委員さんをお願いします。

次、前回の会議録の承認です。何か訂正等ありませんか。よろしいでしょうか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

では、承認いたします。

では、4番目、教育長の報告です。教育長お願いいたします。

○教育長

前回以降のことについて報告をいたします。6点申し上げます。

一つは、子どもの育ちについてです。

春休みも交通事故等もなく大変落ち着いた生活ができたようです。

体験活動もジュニアリーダー研修を始め様々におこなわれています。

始業式・入学式と意欲につながる式となりました。

現在、中学校新人戦など活躍してくれています。

先日、全国学力・学習調査、県の調査も並行して実施しております。

教育委員会も新たな陣容で活気ある雰囲気を感じております。確かな業務遂行ができております。

5月1日付けで最終的な教育配慮加配があり、西川登小に学力向上で1名、山内西小に学力向上・障害児対応で1名、2名の加配がありましたので、今探してもらっています。

前回話題になりました中学生卒業者最終進路で、お配りしている別紙資料の就職・家事手伝い等の子どもたちへかかわりを持ってもらっているところです。

人権同和教育に関して、報告の中にありますが差別戒名墓石追善供養や解放同盟にも訪問して交流したところですが、差別事件については21年度は1件ありましたが、23・23年度は発生していません。学校の間ではそういう状況ですが、まだまだ根っこは深いと聞いているので、一層充実するようにしていきたいと思っております。

北方町給食センター職員の懲戒免職処分の無効確認・処分取り消し請求については、3月30日判決がなされいづれも請求を棄却するとの判決でした。免職処分とした教育委員会の判断は相当であるとの判決をうけております。

県・杵西の動きからですが、県の動きからは川崎教育長のミッションを付けています。今年度の重点的項目があげてあります。

県立高等学校生徒減少期対策審議会が4月も予定されています。中間まとめではっきりしないところもあるので、武雄市教育委員会としての考えを公表し訴えていきたいと思えます。

中高一貫教育検証について、佐賀新聞3月30日の記事をのせていますが、中高一貫校ができた地区についてはここに書いてある以上のいろんな課題が生じたと思うが、検証としては新聞記事にはないが、子どもたちの実態、保護者の考えをまとめて訴えていく必要があると思えます。

今年度の主な事業に関しては、今年度特に言語力向上を基盤とした学力向上を目指すということ強く打ち出しております。6月1日御船が丘小学校に文部科学省の水戸部調査官においでいただき指導していただく。これは午後公開していただく。同じく7月3日山内西小も午後公開していただく。こちらは筑波大付属小の青山先生に指導いただくことになっております。

不登校対応の充実、数は減っているが内容を充実させる方法はないかと、担当が検討しています。

同様にICT教育の推進もさらに充実させます。

今年度から市全体で「栄養教諭を中核とした食育の推進」について、文科省の委嘱研究を受けています。他の地区の取り組みを見たときに、最終的には管理職含め教職員の食育への意識改革がポイントと考え「5校時給食」と時間割上の位置づけをお願いしています。少なくとも2年間くらいはそういう形でやっていきたいと考えています。

北方中でコミュニティスクールの制度の計画を作成中です。

別紙であります、文化遺産を生かした観光振興・地域活性化事業について今年度計画を出している。794万円の予算がついているので、これを生かした事業をやっていくことになります。

以上です。

○委員長

ありがとうございました。質問はありませんか。

○C委員

食育の研究指定のこと、5校時給食について、具体的にもう少し詳しく説明をいただきたい。

○教育長

各学校、給食の指導の年間計画はあり、教育活動の中で給食の位置づけもある。体育や家庭科、道徳、総合的な学習ともかかわって、大枠はあるので、さらに計画段階をびしっとしていく。栄養教諭に担当校に行ってもらっているのが、この行き方もマチマチなので計画的にやろうとすると、受け入れる学校や給食の体制をしっかりとしていないといけない。そのために具体的な例として、5校時を給食の時間として2年間やっていく。

○C委員

ありがとうございました。

○委員長

そうすると授業が6・7時間になりますか。

○教育長

はい、そうです。

○A委員

県立高校再編について、情報はありますか。

○教育長

今のところありません。

○委員長

他にございませんか。無いようでしたら、5番の議事に入ります。第1号議案について教育総務課長をお願いします。

○教育総務課長

第1号議案 武雄市文化財保護審議会委員の委嘱について、議案書により説明。
(任期満了に伴う委嘱で、再任である。)

○委員長

第1号議案についてお尋ねありませんか。よろしいですか。可決いたしました。
第2号議案について、お願いします。

○教育総務課長

第2号議案 武雄市学校薬剤師の委嘱について、議案書により説明。
(武雄北中学校薬剤師の辞退申出により、武雄杵島地区薬剤師会から推薦された者を後任に委嘱するもの。)

○委員長

第2号議案についてお尋ねありませんか。よろしいですか。可決いたしました。
第3号議案について、お願いします。

○教育総務課長

第3号議案 平成24年度武雄市奨学資金貸与生の決定について、議案書により説明。
(高校生3名、大学生2名について、奨学資金貸与生とするか決定するもの。)

○A委員

去年は高校生1名、大学生1名だったが、資金的には大丈夫か。また、今の経済不況の中、滞納等で、不納欠損処分をしなければならない事例がありますか。

○教育総務課長

現在55名に貸与中ではありますが、現金残高が4,300万円程ございますので、資金の余裕はあります。

また、滞っている方はありますが不納欠損まではしていません。

○委員長

申請された方で、提案するに当たり、検討を要した方はありますか。

○教育総務課長

成績で、どうかと思う方がありましたが、学校からの推薦のなかで何事にも真面目に取り組まれているということだったので、差し支えないかなと思いました。

○教育長

(補足) この前の議会でも話題になりまして、成績が思わしくなくても意欲があればいいのではないかとの意見がありました。

○委員長

ありがとうございました。ほかに何かありませんか。無ければ、この5名を貸与生と認めますので、対応をよろしくお願いします。以上で議案を終わります。

各課からの報告をお願いします。

○教育総務課長

1 人事の発令、2 教育委員会事務局体制、3 自治公民館長の委嘱、4 武雄市スポーツ推進委員の委嘱、行事報告・行事予定について、議案書により説明。

○学校教育課長

1 行事報告、2 行事予定、3 人事内申関係、4 寄付採納について、議案書により説明。

○文化・学習課参事

生涯学習係分1行事報告、2行事予定、スポーツ係分1行事報告、2行事予定、文化芸術係分1行事報告、2行事予定、文化財係分1行事報告、2行事予定について、議案書により説明。

○図書館・歴史資料館長

1 行事報告、2 行事予定について、議案書により説明。

○未来課長

1 行事報告、2 行事予定について、議案書により説明。

○委員長

ありがとうございました。各課からの報告がありましたが、ご質問があればどうぞ。

○A委員

学校訪問の日程についてはどうなっていますか。いつごろ決まりますか。

○学校教育課長

杵西教育事務所の訪問が3分の1あり、今から日程調整をします。その後早めにお知らせします。

○C委員

2点です。学校教育課長さんへ、神崎市では中学校の新学習指導要領により、授業時間の確保のため夏休みを短くするという新聞記事がありましたが、武雄市の対応は。こども部さんへ、子どもは地域や学校と連携しながら育てていくが、基本は家庭と思うので、家庭教育について充実をさせていただきたいが、どのような考えをお持ちか聞かせていただきたい。

○学校教育課長

中学校の新学習指導要領では1, 0 1 5時間授業となっている。授業の余裕時間について調査したところ、中学校3年生で10時間、1・2年生で60時間あります。10時間というのは非常に厳しく、インフルエンザ等で1・2日休校になると飛んでしまう状況。武雄市ではすべての学校で夏休みにサ

マースクールを実施しています。授業ではないですが、発展的・補助的なものとして、子どもたちを学校へ呼んで実施しています。さらに調査・検討して、夏休みに授業が必要か校長会等で検討します。

○未来課長

委員の言われる通り家庭が基本であると考えており、武雄市ではトムソーヤ事業の中で、学校・家庭・地域の一元化、地域ぐるみの子育て運動を展開して行こうと考えています。具体的には、武雄市の教育の中に掲げているいろんな事業に取り組んでいきます。就学前の子育ての悩みを含めて家庭教育の支援をしていく場として、6年目となる子育て総合支援センターを活用していきます。

○こども部長

青少年教育については、課長が申しあげたとおりで、こども部には、支援が必要な方への支援をしていく支援課が別にありまして、相談員5名がおり、毎日の日誌を見ると大変な状況がわかります。人数の問題ばかりではないと思いますが、まず、相談員を増やすなど体制を整え、そういうところへの支援をしていくことが大事だと考えています。

○C委員

家庭教育支援チームの活用やチームのみなさんの研修を深めて、そういうところとも連携を取りながら支援をしていただけたらと思う。4か月健診時など、保護者が集まる機会を大切にしていきたいと思います。

○こども部長

図書館との連携でブックスタートも行われており、あまりに盛りだくさんという声もあります。

○C委員

支援の在り方の見直しも必要で、必要以上にすることは無いと思います。ありがとうございました。

○B委員

2点お尋ねします。1つは自治公民館長がいないままの所はないか。自治公民館は地域活動で要のところだと思うので。2つ目は先ほどの支援との関連ですが、インフルエンザの出席停止期間が長くなり、病後児保育のできるところがなくてという声を聞きます。市としてその対応をどう考えていらっしゃるか。

○教育部理事

自治公民館長の件、館長・主事会でも言って、空席がない状態を作っていきたいと思います。

○未来課長

病後児保育に関して、現在市内にはなく、契約を結んでいるのは嬉野市の樋口医院のみです。今後はさらに充実をしてかなければならないと思いますが、まず、支援センターの送迎事業を行うファミリーサポートなど、このような制度の活用ピーアールをしていきます。

○こども部長

病後児保育については、今後の課題です。

○委員長

ということだそうですが、よろしいですか。

学校教育課長にお尋ねですが、全国的に話題になっている就学予定の子が学校に来ていない、どこにいるかわからないと、市内ではそういうことはないですね。

○学校教育課長

市内にはありません。

○C委員

学校教育課長にお尋ねですが、中学校の試験中は給食はありますか。試験中も食べさせてもらえないかという声を聞きましたので。

○学校教育課長

給食費の関係で給食日数が決まっていますので、日数いっぱいやっていると思います。本年度、授業時間確保のため、試験の後、授業ということも考えられるので、調べてみます。

○委員長

青陵中に行っている子どもたちが、地域で子どもクラブ等に入っているのか。県立中だから（入らない）という感覚の方もあると聞くので。自分としては子どもクラブは地域のもので、入っていると思うけどと答えたのですが、どうでしょうか。

○C委員

私が答えるのはおかしいですが、北方では入っているところと入っていないところがあるようです。うちの子は県立中なので入れないという保護者もあるようです。

○教育長

青陵中の件、中学校ができる段階でも話題になっていて、出るべくして出てきたという感じですが。できるところは一緒にやろう、そうしないといざというとき困ると、校長とは話しています。ジュニアウインドや中体連と一緒に、ジュニアリーダーにも青陵中生はいます。当然この問題はこれから出てくると思います。方針の中の最後に掲げている市民総ぐるみの取り組みもあるように企業さんにも協力していただいているような形でやっていかないとこれからは出てくるだろうと思います。子どもクラブのことも青陵中生にも言わないといけないと思います。それは引き続きの問題だろうと思います。

○委員長

よその町から青陵中に来ている保護者から、子どもが将来地域とどうかかわっていくかとても不安で、地元の中学にやった方が良かったか悩んでいるとの声もありました。教育長の話にもあったように、地域は地域でつながりを持っていないといけないなど、将来を見ての子育てなので、子どもクラブに誘ったり、一緒に活動をするように状況を作っていけないのかなと思いつながりながらお尋ねしたところでした。

他にありませんか。次に進みます。次回開催日について、5月23日水曜日午後2時からです。よろしいでしょうか。

その他ですが、数点ありますので、教育総務課長からお願いします。

○教育総務課長

協議事項2件あり。

- ① 武雄市民生委員推薦会委員（任期3年 24.4.1～27.3.31）選出…猪村委員に依頼。
- ② 青少年問題協議会委員（任期2年 24.4.1～26.3.31）選出…委員長に依頼。

行事予定についてお知らせ

○委員長

小中学校・幼稚園の入学式・入園式に参加しての感想を申し上げます。山内中学校の立腰教育が立派で気持ちが高く、入学式の入場はピアノ生演奏、退場は2・3年生が校歌を歌って送るなど、感激・感動・感銘を受けました。

原田参事にお尋ねです。武雄市の教育で伝統文化継承に努めるということですが、どこでも継承で悩んでおられる、それへの支援は予定されていますか。

○文化・学習課参事

後継者育成として、昨年、伝統芸能まつりを開催しました。今年も発表の場を作って行こうと思っています。実際、踊り手不足はあって、各保存会で、たとえばとなりの地域まで広げるとかして解決してもらいべきではないかと考えます。また、伝統芸能保存連絡協議会に加入してもらい、他団体の情報を得てもらいなど、その場を活用してもらいたいと思います。

○委員長

全国的にでも良い情報があれば提供していただきたいと思います。

小中学校の改築改修はよくできていますが、公民館についてはどうですか。武内公民館は聞いています。

○教育部理事

各公民館ごとの施設台帳の整備をして、改修・改善の年次計画を立てていきます。

○古場委員

自治公民館については、地元負担が多いが、補助の制度はどうなっていますか。

○文化・学習課参事

新築で最高 200 万円、修理や改修にもいくらかの補助があります。

○委員長

各学校花いっぱいできれいにしていただいています。先生方も用務員さんに声掛けをしていただきたいと思います。

新年度、部課長さん方にいろいろお願いをいたしました。1 年間どうぞよろしくよろしくお願ひいたします。

他になければ、これで 4 月の定例教育委員会を終わります。

午前 11 時 25 分 閉会